

スパメジ 試験成績表

■試験結果

圧縮強度(N/mm ²)	42.1	JIS R 5201 11.準拠
曲げ強度(N/mm ²)	13.9	JIS R 5201 11.準拠
吸水率(%)	0.36	JIS K 6911
透水性	0 mm	JIS A 6909 24 時間後減水高さ

■カビ抵抗性

1) 試験方法 : JIS Z 2911(2018) プラスチック製品の試験・方法 B により評価 ※N=1 で試験を実施
 方法 B 及び方法 B'では、炭素源を含む“完全な”培地存在下で、混合したかび孢子懸濁液を試料に接種する。
 試料に栄養成分が含まれていない場合でも、かびは、試料上に発育でき、その代謝物は試料を侵食する。
 試料表面又は培地中にかびの発育阻止が認められた場合、試料は、かび発育抑制力又は殺かび力をもつと
 評価できる。方法 B'では、培地上にかびが十分発育してから試料を置く。

方法 B 及び方法 B'は、表面汚染が予想される場合に行う。

2) 孢子懸濁液 : 混合孢子混濁液

3) 保存環境 : 29±1 °C, 湿度 95 %以上

4) 保存日数 : 4 週間

5) 使用カビ : 1 アスペルギルス ニゲル(Aspergillus niger) NBRC 105649(ATCC 6275)
 2 ペニシリウム ピノヒルム(Penicillium pinophilum) NBRC 100533(ATCC 36839)
 3 ペシロミセス バリオッチ(Paecilomyces variotii) NBRC 107725(ATCC 18502)
 4 トリコデルマ ビレンス(Trichoderma virens) NBRC 6355(ATCC 9645)
 5 ケトミウム グロボスム(Chaetomium globosum) NBRC 6347(ATCC 6205)

<試験結果>

試料名	結果の表示
スパメジ	0

・評価基準

菌系の発育	結果の表示
肉眼及び顕微鏡下でかびの発育は認められない	0
肉眼ではかびの発育が認められないが、実体顕微鏡下では明らかに確認できる。	1
肉眼でかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の 25 %未満	2
肉眼でかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の 25 %以上 50 %未満	3
菌系はよく発育し、発育部分の面積は試料の全面積の 50 %以上	4
菌系の発育は激しく、試料全面を覆っている。	5

かびの発育状態	検体の評価
0	強力なかび発育抑制効果
0(阻止帯あり)	拡散性の物質による強力なかび発育抑制効果
1	不完全なかび発育抑制効果
2~5	徐々にかび発育抑制効果は減少し、完全になくなる。

※上記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。



株式会社 大建化学

愛知県豊川市新桜町通3丁目30番地5
 TEL.0533-86-5625 FAX.0533-89-1751